

適応疾患 療法名	薬剤 1日投与量・方法	投与時間	投与日	投与ルート	投与間隔、総コース	主な副作用	適応
食道がん							
	食道 FP CDDP 80mg/m ² /日 5-FU 800mg/m ² /日	120分で 5日持続	DAY1 DAY1－5	点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は1コース28日(21日)と して最大6コース行う	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、疲 労感、口内炎、下痢、発疹、色素沈 着、聴力低下、腎機能障害(CDDP)	
	食道 1週毎パクリタキセル単剤(weekly PTX) PTX 100mg/m ² /日	1時間かけて	DAY1,8,15,22,29,36	点滴静注DIV	1コース49日 1週毎投与を6回くり返し、2週間休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下 痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫	
	食道ニボルマブ単剤 ニボルマブ 240mg/body/日(16週ま で) ニボルマブ 480mg/body/日 (1 7週以降)	30分かけて	DAY1	点滴静注DIV	16週まで14日毎 17週以降28日毎	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、 甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖 尿病、食欲不振、神経障害(しびれ、麻 痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障害、 過度の免疫反応、皮膚障害、脳炎、下 垂体機能低下症、副腎障害、下痢・大 腸炎、消化管穿孔、静脈血栓塞栓症、	
	食道 ペムブロリズマブ+FP ペムブロリズマブ200mg/body CDDP 80mg/m ² /日 5-FU 800mg/m ² /日	30分で 120分で 5日持続	DAY1 DAY1 DAY1－5	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は1コース21日	骨髄抑制、インフュージョンリアクショ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1 型糖尿病、食欲不振、悪心嘔吐、疲 労感、口内炎、、神経障害(しびれ、麻 痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障 害、過度の免疫反応、皮膚障害、脳 炎、下垂体機能低下症、副腎障害、 下痢・大腸炎悪心嘔吐、疲労感、発 疹、色素沈着、聴力低下	
	食道 DCF DTX 70mg /m ² /日 CDDP 70mg/m ² /日 5-FU 750mg/m ² /日	60分で 120分で 5日持続	DAY1 DAY1 DAY1－5	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は1コース21日 術前3回まで	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、疲 労感、口内炎、下痢、発疹、色素沈 着、聴力低下、腎機能障害(CDDP)、 脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、浮腫	